

研究のため、カルテの情報を使用させて頂いています

◎対象となる患者さん: 当院に入院された方

1、研究の題名 『感染症科医による黄色ブドウ球菌菌血症患者に対する併診介入前後での患者転帰の比較』

研究期間：2015年4月1日～2022年3月31日

2、研究の目的

黄色ブドウ球菌菌血症は重篤な疾患であり、死亡率が高いため適切な感染症診療が求められます。当院では感染症科が設立されるまでは各診療科の主治医が黄色ブドウ球菌菌血症の治療を行っていましたが、2017年4月より感染症専門医が当院に着任し、2019年4月感染症科の設立以降は血液培養で黄色ブドウ球菌が検出された場合は感染症科医が主治医に連絡し、併診の上、診療のサポートを行っております。本研究は、感染症科による診療介入を行う有用性を評価することを目的としています。

3、以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

対象期間：2015年4月1日～2022年3月31日

4、本研究で使用する情報について

[患者背景]

年齢、性別、診療科、ICU入室、SOFAスコア(ICU入室症例のみ)、qSOFAスコア、バイタルサイン、発症場所(市中発症/施設発症/院内発症(入院後48時間以降の発症))、血管内デバイス(ICD、ペースメーカー、人工血管)、末梢ルート、中心静脈カテーテル(CV/PICC)、Charlson Comorbidity Index、APACHE II score、糖尿病、発熱性好中球減少症、人工透析、アトピー性皮膚炎や褥瘡の皮膚疾患、肝硬変、HIV感染、悪性腫瘍(5年以内)、外傷歴、過去の感染性心内膜炎治療歴、抗癌剤、免疫抑制薬(ステロイド)の内服歴、過去30日以内の手術歴、IV Drug user、VCM MIC、感染臓器、播種性病変の有無、中枢神経浸潤の有無

[検査所見]血液培養の再検、経胸壁心エコー、感染巣ドレナージ、適切な治療期間の設定

[その他]治療期間、在院日数

5、取得情報の利用範囲

飯塚病院で使用します。

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

(科名又は部署名)感染症科

(研究責任者名)長谷川雄一

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

(連絡先)0948-22-3800 (代表)
(担当者名)感染症科 長谷川雄一